

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 どーむ					公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		支度や遊びを進めやすい様に、机や椅子を設定する時間を見直し、十分なスペースで安全に過ごせるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		職員配置は満たしているが、お子さんの様子を考えると、丁寧な支援をするために人数を増やしていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		視覚支援、分かりやすい動線、集中しやすい環境となる様な配置と構造にしています。	今後も、ツールの使用や環境設定を適切に行い、発達段階に合わせた支援ができるように努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃後、アルコール消毒を行っています。おもちゃの消毒、破損のチェックを行い安全に過ごせるようにしています。	感染症予防も含め、今後も衛生面に気を付け清潔な環境での支援を進めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		お子さんの様子に応じて、個別の部屋を使用し落ち着いて過ごせるように進めています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表を集計し、職員会議で周知し、改善に向けて検討しています。	様々なご意見を伺い、改善へとつなげ良い支援ができるように努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝礼、終礼、職員会議の中で意見を出し、改善点を検討し進めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		外部評価は法人として検討を進めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年に2回の職員全体研修の実施と法人内の研修に参加しています。発達講習会などに定期的に参加しています。	オンライン研修なども活用しながら、全職員の支援力向上に努めていきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		児童発達支援ガイドラインに沿った支援プログラムを作成しています。	早急な公表に向け準備を進めています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		お子さんの様子を把握し、お子さん、保護者のニーズや課題を客観的に捉え、個別支援計画を作成しています。	引き続き、適切なプログラムの作成に努めます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		お子さんの様子について共通理解を図るために、療育支援会議の中で情報共有しています。	引き続き、全職員共通理解のもとに支援を進めていきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		療育支援会議、日々の打ち合わせ時に情報共有を行うと共に、個別支援計画をいつでも確認できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		市・町で実施した発達検査の結果から発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。日々の記録を丁寧に行い様子を把握しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に沿った内容を踏まえて個別支援計画に反映、設定しています。	引き続き、お子さんの特性や発達状況を踏まえ、5領域に関する具体的な支援内容を設定していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		複数の職員で立案し修正を行いながら、お子さんが意欲的に取り組みに向かえるように進めています。	プログラムの方向性、ねらいや関わり方を確認し、意見を出し合いチームでプログラム作成が出来るように努めます。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		お子さんの取り組みの様子を見ながら意欲的に取り組める内容を検討しながら進めています。	引き続き、お子さん一人一人の発達段階に応じたプログラムの立案に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		小集団の中でそれぞれの目標達成を目指し、様子に応じて個別の活動を取り入れています。	ニーズを踏まえた支援計画の作成と支援に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼でプログラムの流れ、役割分担、配慮事項を確認し、伝えられないようにボードに記入しています。	情報を共有するだけではなく、情報を活かすことを心がけ、お子さん一人一人が不安なく安心して過ごせるように努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼で様子や支援の振り返りを行い、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		一人一人、場面ごとに様子を丁寧に記録しています。	目標に沿った内容を明確に記録し、成長の様子を把握し、改善やステップアップにつなげていけるように努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		概ね6ヶ月に1度、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		開催される時には、児童発達支援管理責任者や担当者など適任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		市・町の発達相談、保健師と情報共有を行っています。	引き続き、関係機関と連絡を取り合い、情報共有に努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		併行通園先と連絡を取り合い、様子の共有をし整合性のある支援となる様に努めています。	引き続き、連携をとり、適切な支援となる様に努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		教育委員会と連絡を取り、どーむでの様子をお伝えしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	併行通園のお子さんが多いため、交流の機会は設けていません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳、送迎時のお話し、面談を通して様子の共有をしています。	保護者の方とのコミュニケーションを大切にしています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		市などで開催されるペアトレや研修の情報提供をしています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明しています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談で意向を伺い、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		支援計画の内容を、一緒に確認し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		年に3回の定期面談と必要に応じて面談を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に4回、茶話会を開催し保護者同士の交流の機会を設けています。	多くの方が参加しやすい内容を検討し、開催できるように努めています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		必要に応じて面談を実施しています。	相談があった際には、丁寧に迅速に対応できるように努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		月に1回発行するどーむだりよりで、活動内容などを発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			今後もしっかりと取り組んでまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		ことばと共に視覚支援ツールを使用し、一人一人が分かりやすい方法でコミュニケーションをとっています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		毎年、法人として夏祭りを開催しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを作成しています。	職員、保護者の方への周知に努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		月1回、避難訓練を実施しています。	曜日を変えて、全児童が経験できるように実施していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用開始時に健康状況票に記入していただき、確認しています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	契約時に必ず保護者の方に確認をしています。現在は対象となるお子さんはいません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		分かりやすい周知方法を検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		危険な事例があった場合、記録に記載し終礼時に職員で共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人全体で研修を実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	3	現在、対象となるお子さんはいません。	法人で虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置しており、必要があるときは会議で検討を行っています。	